

## 2. 学童期・思春期

**目標 歯・口の健康づくりを通して健康的な生活習慣を身につけ、自分の健康を守る力をつけよう**

歯の喪失の主要な原因はむし歯と歯周病であり、学童期は永久歯のむし歯が発生しやすい時期です。むし歯は治療が遅れると歯の喪失の原因となることから、生涯にわたり歯・口の健康を維持するためには、むし歯の発症を予防することが最も重要です。また、この時期の歯・口の健康づくりは、学校における歯科保健活動の中でむし歯予防を中心とした取り組みが進み、大きな成果をあげてきました。しかし、近年の子どもの現状をみると、むし歯の発生以外に噛む力など口腔機能の発達の未熟さや歯周病などの増加、さらには生活習慣病の低年齢化が指摘されており、歯科保健活動は口腔内にとどまらず、食育も含めたより広い視点をもった活動が求められています。

さらに、生涯にわたる健康づくりは、乳幼児期からの継続した取り組みが必要です。規則正しく食べること・よく噛むこと・飲み込み等の機能のみでなく、家族や友人といっしょに食事をし、食べる楽しみや好ましい人間関係を形成したり、表情豊かに話すこと等、生きるために欠かすことのできない習慣を身につけられるようにすることが大切です。むし歯や歯周病のみでなく、生活習慣病等も予防し、生涯にわたって健康で豊かな生活を送る基礎を培うために健康の基本を学童期・思春期に学び、身につけることが重要です。

### 現状

大阪府学校歯科医会統計によると東大阪市の「12歳(中学1年生)で、むし歯のない生徒の割合」は、平成22年度は59.9%、平成23年度は61.2%、平成24年度は63.8%で改善傾向にあります。

歯・口腔の健康診断において治療勧告になっても、初期のむし歯では痛みがないことまた時間・経済的な問題もあり、早めに受診するといった行動につながりにくい状況があります。

東大阪市食育推進計画より

- ・野菜を1日に1回またはほとんど食べない市民の割合は
 

小学生 16.8% (平成15年度)	10.4% (平成23年度)
中学生 28.5% (平成15年度)	19.5% (平成23年度)
- ・朝食の欠食率は
 

幼稚園児 3.0% (平成19年度)	1.0% (平成23年度)
小学生 8.1% (平成15年度)	4.1% (平成23年度)
中学生 19.0% (平成15年度)	10.4% (平成23年度)

- ・毎日家族のだれかといっしょに食事をする割合は  
小学生 95.9% (平成 15年度) 95.1% (平成 23年度) に減少しています。  
中学生 78.9% (平成 15年度) 82.5% (平成 23年度) に改善しています。

### 課題

歯・口腔の健康診断後、要治療者が早期受診につながるよう啓発していくことが必要です。

児童、生徒、保護者に対する歯科口腔保健の啓発が必要です。

食育の中で歯・口の健康づくりを推進する必要があります。

歯・口腔の健康診断、歯科診療における要支援児童等に対する関係機関との連携が必要です。

### 現在の取り組み

- 歯・口腔の健康診断・・・幼・小・中・高校にて年 1 回実施。
- 歯科医・歯科衛生士による歯科衛生指導。  
幼稚園・小学校は各 2 学年、中・高校は各 1 学年で実施。  
中・高校の歯科衛生指導未実施の学年には、歯・口に及ぼす喫煙の害についてパンフレットにて啓発している。  
要保護児童対策協議会に参画し、関係機関と連携。(歯科医師会)

### これからの目標

#### 12歳児でのむし歯のない者の増加

現状値 (平成 24年度)	目標値 (平成 34年度)	データ元
63.8%	70%	大阪府学校歯科医会統計

#### 歯科衛生管理指導の充実 (実施回数及び対象学年)

現状値 (平成 21年度)	目標値 (平成 32年度)	データ元
2回 抽出学年	4回 幼児、小学 1・2・3年	東大阪市教育振興 基本計画

毎日家族のだれかといっしょに食事をする小学生・中学生の増加

現状値（平成23年度）	目標値（平成28年度）	データ元
小学生 95.1%	100%	東大阪市食育推進計画
中学生 82.5%	90%	

朝食を欠食する幼稚園児・小学生・中学生の減少

現状値（平成23年度）	目標値（平成28年度）	データ元
幼稚園児 1.0%	0.5%	東大阪市食育推進計画
小学生 4.1%	3%	
中学生 10.4%	8%	

野菜を一日一回またはほとんど食べない小学生・中学生の減少

現状値（平成23年度）	目標値（平成28年度）	データ元
小学生 10.4%	5%	東大阪市食育推進計画
中学生 19.5%	10%	

健康トライ21（第2次）・東大阪市食育推進計画・東大阪市教育振興基本計画の目標値、評価年と合わせる。



知っ得情報

歯並びを悪くするクセとは



## 今後の取り組み

### 市民の皆さんに行っていただきたいこと

- 自分で磨けるようになる（小学校中学年）までは仕上げ磨きを行う。
- 歯・口腔の健康診断で歯科受診を勧められたら、早めに受診する。
- 学校や歯科医院などで正しい歯みがき方法を学び実践する。
- 食後や寝る前には歯みがきを行い、自分で歯・口の健康管理を行う。
- 1日3回バランスのとれた食事を摂り、よく噛む習慣を身につける。
- 家族で楽しく食事をする。
- おやつは1日1回にし、食べ過ぎない。
- 喫煙が歯・口の健康や全身の健康に害を及ぼすことを知る。
- 歯・口の健康づくりから全身の健康づくりにつながるよい生活習慣を実践する。

### 関係機関（団体）・行政が取り組むこと

- 保健だよりなどを通して歯科口腔保健情報を児童・生徒や家庭に発信する。 【学校】
- 歯・口腔の健康診断の実施と要治療者への受診勧奨を行う。 【歯科医師会・学校・教育委員会】
- 喫煙が歯・口の健康や全身の健康に害を及ぼすことについて啓発する。 【歯科医師会・学校・教育委員会】
- 正しいブラッシング方法の指導を行う。 【歯科医師会・学校・教育委員会】
- 歯・口の健康を題材とした教育の中でも、子どもが健康づくりに関心を持ち、行動につながられるよう支援する。 【歯科医師会・学校・教育委員会】
- 学校での歯科口腔保健の推進を図る。 【歯科医師会・学校・教育委員会】
- 乳幼児期からの継続した歯・口の健康づくりの推進を図る。 【歯科医師会・行政】
- 歯・口腔の健康診断の結果や歯科保健事業の取り組み状況などの情報を関係機関と共有する。 【歯科医師会・学校・教育委員会・行政】
- 要保護児童対策協議会に参画し、健診や診療を通じて要支援児童等をサポートできる体制を強化する。 【歯科医師会・学校・教育委員会・行政】

学校での歯科衛生指導の様子



歯・口に及ぼす喫煙の害

